

2018 子育て支援フェスティバル 渉外活動報告 山近記念総合病院 渉外担当 大久保実彦



2018. 5. 27 (日曜日) 10:00～

毎年この時期に開催される

小田原市 子育て支援フェスティバル

あつまれ わくわくらんどにて

西湘放射線技師会 & 神奈川県放射線技師会 collaboration!

“乳がん啓発活動”をおこないましたので報告いたします。

前日、土曜日から西湘放射線技師会役員と会場の設営に入り、来場者の動線を想像しながら団体として初めて参加した時の事を思い出しました。

このフェスティバルは毎回 5000 人以上の来場者で、小田原市では大きなイベントのひとつであります。振り返れば 2013 年に団体として初めて参加させていただいた子育て支援フェスティバル。

新参者には部屋も与えてもらえず乳がん触診ファントム片手に廊下片隅で活動を行い、

その翌年 (2014 年) は、体育館舞台横で乳がん啓発活動を行ったが、舞台放送や歌声、楽器演奏などで思うように活動できなかった。あれから 5 年、広々とした部屋を見渡し、当時を懐かしく感じました。今では会場内でも一番大きな部屋を任せられるところまで小田原市子育て政策課の信頼を得ています。

“継続は力なり”

当会ブースに立ち寄っていただくお母様も年々増えているのも役員皆様の乳がん啓発にかけた思いでもあり、3 年前に骨密度測定サービスを取り入れてから飛躍的に延びました。また新たな challenge! として“血管年齢測定サービス”とプロジェクターを用いて“乳がん画像を見てみよう”のコーナーを設けました。一人でも多くのお母様方が乳がんセルフチェックと乳がん検診の大切さを、子供のため、家族のため、そして、お母さん自身のために感じていただける日にしたい! そういう一日でありました。



★乳がんファントム触診サービス

男女含め 430 人 (神奈川県技師会女性技師 2 名と小田原健康づくり課保健師 2 名ファントム 3 台でがんばっていただきました)

★骨密度測定サービス

女性 126 人 男性 46 人

★血管年齢測定サービス

女性 125 人 男性 51 人 子供 14 人



